

水道施設(電気設備)への止水対策により断水を回避(神奈川県小田原市)

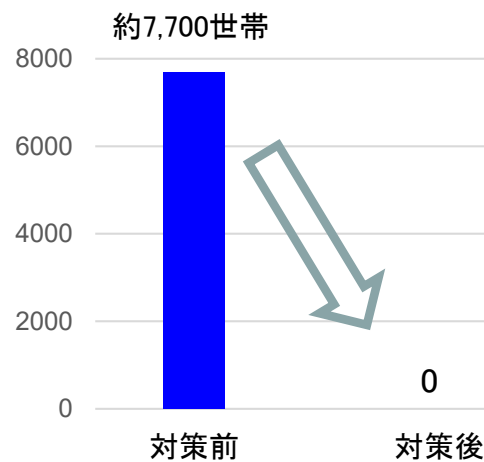
- 小田原市(神奈川県)の水道施設(水源地の電気設備等の建屋)は酒匂川の浸水想定区域内にあり、最大3m浸水するおそれ。もし3m浸水した場合には、約7,700世帯で断水が発生するおそれ。
- 安定的な水道供給のため、3か年緊急対策により、建屋の扉を止水扉に、明かり取り窓を水密構造に改造。
- 令和元年東日本台風では、敷地内で0.4mの浸水が発生したが、止水扉により建屋内への浸水を回避。

事業	対策内容	事業費	整備期間
第二水源地浸水対策事業(3か年緊急対策)	止水扉の設置等	約1,000万円	令和元年度

【位置図】



水密構造への改造



令和元年東日本台風時の浸水深:0.4m

止水扉(水源地の建屋内にある電気設備等の浸水対策として設置)

浸水による断水戸数(3m浸水時の想定)